

地域の安全を守る妹背牛駐在所長



4月1日付で、深川警察署妹背牛駐在所に着任しました。事件・事故の対応やパトロールの経験が長く、駐在所の勤務は初めて。「地域住民の皆様との距離が近いので、新鮮な気持ちで働いています」と、話しています。



きなみ まさと
木浪 正人さん 38歳

- ・北見市出身
- ・妹背牛町在住
- ・高校を卒業後、北海道警察に就職。士別・網走・札幌南警察署などを経て、妹背牛駐在所は6カ所目の赴任地。家族5人でキャンプに出かけることが休日の楽しみ。

妹背牛町の印象について「バレーボールが強かった旧妹背牛商業高校や、リニールオープンした妹背牛温泉ペルで、町のことは知っていました。親切な人が多くて、静かな雰囲気が暮らしやすいです」と、語ります。

一方で、「人通りが少ない分、子どもたちだけで歩いているのを見ると、心配になります。子どもたちが犯罪の被害に逢わないようにパトロールを強化したいです」と、力を込めます。

また、交通事故の悲惨な現場をいくつも見てきた経験から「運転は、注意してもしすぎることはありません。悲しい思いをする人を1人でも減らしたいです」と、交通安全の意識を広めることも目標の一つです。

交通事故や犯罪を未然に防ぐため、今日も地域の安全に目を光らせます。

とがりの外国人

ベトナム人の地域おこし協力隊員が町内の外国人を紹介する企画です。

4月下旬、徐々に気温が暖かくなり、雪が解けて、道端にかわいらしい草花が咲き始めました。町をきれいにするため、4月20日に妹背牛町内の「福寿草の会」の皆さんが清掃活動を行いました。ホクレン包材株式会社の技能実習生らベトナム人10人も参加しました。

当日は風が強くて、曇りでした。参加するみんなは頑張って、たくさんのごみを拾いました。その中で、一番多かったごみはペットボトルと空き缶でした。

参加した感想を聞くと、マイ・レ・チャム・アインさん(28)は「昨年は、料理を作る役割でしたが、今年のごみ拾いの体験ができて良かったです」と述べました。

グエン・ティ・クエンさん(31)は、ベトナムにいた学生時代に、何度もごみ拾いのボランティアに参加した経験者。日



地域のごみ拾いボランティアに参加したベトナム人

本に来てからは初めてで、「地域の住民とつながりを持たせたことがうれしいです」と話しました。

清掃活動が終わった後、町民の方が作ってくれたアツアツの豚汁を食べて、野菜がたくさん入っていてとてもおいしかったです。

ごみ拾いの活動を通じて、技能実習生たちと生活環境を守る意識を高めて、もっときれいな町にしたいと思います。